

会長就任のあいさつ



会長 吉敷賢一郎

この度、一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会の会長を拝命いたしました吉敷賢一郎(きしきけんいちろう)と申します。

前任の田島敏包会長からバトンを引き継ぐことになりましたことは、身に余る光栄であり心から感謝申し上げます。会長職は重責であり、身の引き締まる思いであります。良き伝統を継承しながら更なる発展に向けて最大限努力していく所存でございます。

当協会は1947年に設立され、75年という大きな節目を迎えました。2016年には一般社団法人としての新たなスタートが切られました。これまで前会長は26年間という長きにわたり会長として埼玉県のバスケットボールを力強くけん引されて来られました。その間には、さいたまスーパーアリーナが完成し、世界選手権が、この埼玉の地で開催されました。昨年は東京2020オリンピックがさいたまスーパーアリーナにおいて開催されました。日本代表女子が史上初の銀メダルを獲得しました。パラリンピックでは車いす日本代表男子が銀メダルを獲得しました。日本代表女子と車いす日本代表男子の活躍は、日本中に感動と勇気、そして夢を与えました。

当協会に携わってこられた多くの方々のご尽力と大きな支えは、当協会に多くの功績を残し歴史と伝統を築いてくれました。そのすべての皆様に大きな敬意と深い感謝を抱かざるを得ません。改めて心より感謝いたします。

社会の変化は年を追うごとに加速しており、それはスポーツ界でも例外ではありません。当協会においてもガバナンスやコンプライアンスの構築を更に進め、信頼される組織を目指すと同時に、風通し良く開かれた協会となれるよう努力します。

インテグリティの向上も課題の一つです。指導者がしっかりと理解せねばなりません。更には競技者、指導者、審判、役員、保護者、すべての関係者がお互いを思いやり、リスペクトし、フェアプレーの意識を更に高められるようにオール埼玉で推進していきましょう！

新型コロナウイルスへの対応についても、安全に開催できるよう感染対策に努め、今後多くの事業を継続・再開させ、コートにこれまで以上の熱気を取り戻していきましょう！

アンダーカテゴリーの選手育成・強化は今後の埼玉のバスケの未来そのものです。そのために質の高い指導者を育成していきます。そしてすべての子供たちが、県内のどこであっても、バスケットボールに触れ、学び、プレーするためのより良い環境作りを目指します。

埼玉県バスケットファミリーの一人一人が夢を抱き、本県のバスケットボールが更に輝けるように皆様と共に歩んでいきたいと強く願っています。

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会
会長 吉敷賢一郎